

里だより

No.395

令和6年12月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



第8回

秋

の

里

まつり

の

里

たくさんのご来場ありがとうございました!!



行事予定・
ありがとうございました。

編集後記・・・13

研修報告・・・12

行事報告・・・6

サービス向上委員会より・

職員より・事務局より・・・5

主任より・・・4

相談より・・・3

施設長より・・・1

(ページ)

十二月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

施設を開く



十一月に入り、やっと秋が追い付いてきた感じですが、最近
は春と秋が短くなったという話を聞きます。気温が二十五℃の
日もあるかと思えば突然、一桁台の冷え込みに戸惑ったりして
いるうちに、もう冬です。施設でも体調管理に右往左往してい
ます。

さて、念願だった地域の方々をお迎えしての「秋の里まつり」
を再開することができました。今回の抽選券の最終配布番号は
「三九九」でした。中には、午後から帰るからと受け取られな
かったり、数名で来場し一枚しか受け取られないケースもあり、
来場者数はもっと多かったと思われます。担当者は、ポスタ
ー・回覧板・SNS等を使用し広報に力を入れてくれました。
五年ぶりの通常開催でしたので、地域の方は、参加して良いの
かどうかの戸惑いもあったようです。令和元年度の配布数が
「五〇八」でしたので、元に戻すにはもう少し交流を含む日頃
の対策が必要です。この他、キッチンカーを呼ぶなどの新しい
試みにもチャレンジしてみました。いかがだったでしょうか。
抽選会も二十二社の企業様に協賛いただき、施設が用意した賞
と合わせて八十三本の景品を準備することができました。ご協
力いただいた企業様、誠にありがとうございます。久々の開
催でしたので、以前の資料を見返しながらか、または記憶をさか
のぼりながらの準備でした。不慣れな点多く、来園された皆
様には、行き届かないところも多かったと思います。何卒ご容

赦ください。参加された皆様のご意見をお聞きしながら、改善
していききたいと思えます。

つくしの里に関わる皆さまのお力添えのお蔭で盛会裏に終え
ることができました。お礼申し上げます。

また今年は、十一月にグループホームの地域交流会も再開す
ることができました。こちらも五年ぶりです。この五年の間に
四名の方に入退居の動きがありました。トラブルや大きな声を
あげることもあります。本体施設よりも一段と隣近所が近い
ため、隣（グループホーム）から聞こえてくる喧嘩の原因を心配
されているのではないかと危惧していましたが、参加された地
域の方から「わかっとなる。大丈夫。」の言葉をいただき、胸を撫
でおろしています。これも『今のところは・・・』という気持
ちをもって、なるべくご迷惑かけないようにしていきたいと思
っています。『今のところ・・・』と記載した理由は、グルー
プホームの利用者の入れ替わりと同様に、地域住民の方にも変化
があつているということです。今回、交流会に参加いただいた
方々は、以前からご理解いただいている方々でしたが、これか
らは分かりません。その壁をなるべく低くし取り払うためには、
やはり実態を知っていただく交流を続けていくことが必要だと
思っています。

国は、次年度より地域連携推進会議を設置するように義務付
けています。その目的は、『利用者と地域との関係づくり』『地
域の人への施設等や利用者に関する理解の促進』『施設等やサー
ビスの透明性・質の確保』『利用者の権利擁護』としています。

「秋の里まつり」然り、グループホーム地域交流会然り、地

域の方と触れ合うほど、『開かれた施設』が如何に必要なに気づかされます。

施設長 松永一博

地区のお観音さん竹灯りにおじゃましました！



施設 PR 委員会 今月の 1 枚！

グループホーム

地域交流会♪

お腹もいっぱいになって、

たくさんお話も

出来て楽しかったよ～！



相談より

親亡き後も幸せであるために



一度つくしの里に来たことがある方にはお馴染みだと思えますが、当施設の正面玄関横には信楽焼の狸とともに「親亡き後も幸せに」と書かれた石碑があります。我が子の行く末を案じる、保護者の想いが込められたつくしの里を象徴する言葉だと思います。何かと慌ただしさに追われる日々ですが、ふと立ち止まって石碑を見ると私はある想いが湧いてきます。つくしの里に入所して、親亡き後も幸せか？という問いです。天寿を全うし、利用者様が一生を終える時、皆さんどのような気持ちで最期を迎えられたのでしょうか。最高に楽しかった、まあまあかな、もっとしたいことがあった、もっと違う人生だったら…。答えはどのようなのでしょうか。

私はそこを最も重要視しており、利用者様にとって楽しい時間がより多くあることが理想だと思っています。年間行事は毎年固定で決まっていますが、今はサービス向上委員会があり、委員のメンバーが話し合って実施する固定行事以外のイベントもあります。かき氷会、花火大会、ドーナツ販売、アイスのキッチンカーなど。利用者様の為にと職員が起案書を作ってくると、私も同じ気持ちなのでとても嬉しく思います。

今年六月に当施設設立当初から利用されていた最高齢の女性利用者様が亡くなられました。その数週間後には少し前に退所された男女二名の方も立て続けに亡くなられました。三名の通夜、告別式に参列させて頂いた際、私の脳裏にはやはり「親

亡き後も幸せだったかな？」という想いがよぎりました。祭壇に飾られた行事や外出などの写真を見ると、たくさんの笑顔があり、少なからず楽しい場面はあったのかなと思います。

ご本人から直接答えを聴くことはできません。しかし、葬儀で、ご家族からはたくさんの感謝の言葉を頂きました。「つくしの里があったから、家族の生活が成り立った」「たくさんのサポートがあったから、これだけ長く頑張れた」など。そして、最高齢の女性の通夜の時には施設長も九月号の里だよりに書かれていましたが、身寄りの方がいない為、一緒に泊まりたいと申し出る職員もいました。本当の答え合わせはできませんが、関係者から嬉しい声を聴けることが幸せだった証の一つになるのかなと思います。ただサービス業としての範疇で支援をするのではなく、愛情がある、思いやりがある支援を積み重ねていくこと、楽しい機会がたくさんあること、それが「幸せだった」という答えを導いていくのではないのでしょうか。

私たちも仕事ではありながら、利用者様からたくさんの元気と喜びを頂いています。「幸せにしてあげる」ではなく、「一緒に幸せを分かち合える」ような存在になれるよう、これからもこういった気持ちを忘れず、利用者様と楽しい毎日を送ってきたいと思っています。

相談支援専門員 井上真次



主任より

「今年の漢字」



令和六年も残すところあとわずかとなりました。年の瀬も近付き、一年間を振り返る今日この頃です。私の年末の楽しみの一つに「今年の漢字」があります。京都の清水寺で発表されるこの「今年の漢字」は漢字のすばらしさや奥深い意義を伝える事を目的としており、日本漢字能力検定協会が国民投票で選びます。一二(いい字)、一二(一字)の語呂合わせから毎年「良い字」を覚えて欲しいと設定された十二月十二日の漢字の日に「今年の漢字」は発表されます。

昨年の漢字は「税」。物価高騰が始まり、増税・減税に対する議論が白熱しました。さらにインボイス制度やふるさと納税の見直しもあり、何かと「税」に関する事が多い一年でした。ふと思いついて自分が生まれた年を調べ、一九七八年の漢字を検索してみました。この「今年の漢字」は一九九五年からスタートしており、意外にも歴史は浅かったです。

せっかくなので過去の漢字をあげていきたいと思えます。私が二十歳の時、一九九八年は「毒」でした。皆さまも記憶にあるかもしれませんが、和歌山県のカレー毒物混入事件をかきわきりに、全国で毒物混入事件が相次いだ事や、環境ホルモンが社会問題となった年でした。今から二十年前の二〇〇四年は「災」で、過去最多の十個の台風、新潟中越地震等の自然災害、政治では年金改革や、イラク自衛隊派遣が争点となり、参院選では自民党が民主党に議席数で負けた年でした。この様に過去の

「今年の漢字」を振り返ると、もちろんプラスな思いもありますが、日本人は明るいニュースよりもマイナスのニュースが印象に残りやすいようです。

さて、今年一年を振り返ってみますと一月の石川県で起きた能登半島地震、日航機と海保機の衝突事故の衝撃的なニュースで始まりを迎え、自民党の裏金問題や闇バイトの増加等、暗いニュースが目につきます。その反面、パリオリンピックでフェンシング・体操等の活躍もあり、メダル総数四十五個獲得。大谷翔平選手のドジャーズ移籍後、五十盗塁五十本塁打の偉業達成等、スポーツ関係での明るいニュースもありました。

「今年の漢字」は何だろうか？と家族会議を行ってみました。以下、会話です。

長男「裏金問題、闇バイトがあつて国民が裏切られたりだまされたりしたから裏とかじゃね？」

私「災害関係で被害も大きかったし、それこそ闇バイト等の害悪もあるから害とか災とか難かな？」

妻「暗いのやめて、大谷選手の活躍や男子バレーの躍進、サッカーやバスケットも活躍しているから球技の球で！」

長女・次女・三女「・・・」↑興味なしです。

結果、明るいニュースが良いと言う事で我が家では「球」に決まりました。皆さまにとってどの様な一年になりましたか？暗いニュースもありましたが、自分にとって明るいニュースを探すと意外に多いのかもしれない。暗い気分で迎えるよりも明るい気分で年末年始を迎えて頂ければと思います。今年もお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。

主任支援員 山中真史

職員より

現在、支援局担当をしています。この支援局担当とは、職員が普段デスクワークを行う支援局といわれる職員室の物品管理を行う業務です。一度は中に入られた方も多と思います。今回担当になり、訳も分からないまま、色んな職員から「〇〇が無かったよ」と言われ、購入や注文を繰り返す日々でした。初めは、何かを頼まれて面倒だと思いましたが、自分の注文した物が届き、支援局に設置すると「どうや！言われた物が届いたぜ！」と一人ドヤ顔をし、達成感を味わっています。

また防犯カメラのモニターが置いてあるのですが、雷が落ちる度に壊れます。その度に業者を呼び、修理や交換をしました。お陰で休みの日に自宅にいて、雷が鳴ると「支援局のモニター…無事だよね…」と心配する様になりました。まだ行き届いていない部分も多いですが、小さな事でも施設運営に携わり、勉強になっています。今後も他の職員に「便利になった」と言ってもらえるように、頑張っていきたいと思います。

(支援員 尾崎か)

入職して半年が経ち、利用者さんを笑顔にできる、多様な価値観に触れられる、利用者さんと一緒に目標を達成できるなど、日々サポートしている利用者さんの成長を身近で感じられるのも支援員の楽しさです。リハビリ等始めたばかりの時期は、利用者さんの出来ることも限られています。着替えや食事など、日常生活がままならないこともあるでしょう。しかし、支援員が目指すのは、利用者さんがより良い生活を送れるようにすることです。これから質の良いサポートを提供するために福祉の幅広い知識を勉強して身につけていきたいです。

(支援員 牛島)



事務局より



先日の「秋の里まつり」では、たくさんの方にご来場いただき利用者・職員一同、楽しく過ごすことができました。私が入職した時にはコロナウイルスが蔓延していたので、規模を縮小してのお祭りが続いていました。入職4年目、ようやく皆様をお招きしてお祭りができました。初めてのことで至らない点もたくさんあったと思いますが、皆様の協力のもと無事に当日を過ごせました。ありがとうございました。

コロナウイルスも落ち着いているとはいえ全く無くなったわけではありません。今からはインフルエンザも流行していきます。常々心掛けてはいますが、今後はより一層、体調管理に気を付けたいと思います。

年々感じてはいますが、今年はずっと以上に1年経つのがあっという間でした。12月のクリスマス会、もちつき大会が終われば新しい年になります。やり残したことがないように毎日を過ごしていきたいと思います。皆様もよいお年をお迎えください。

(事務局 井手)

サービス向上委員会より



■ 食事【管理栄養士 奈須・支援員 松若・八木】

利用者さんが美味しく、楽しく、安全に食事が出来るように活動しています。美味しい楽しい食事が出来るように、バイキングのメニューを考えたり、毎月の手作りおやつの日には雰囲気盛り上げる BGM を流したりしています。また安全に食事が出来る為に、2ヶ月に1回言語聴覚士（ST）に訪問してもらい利用者さんの嚥下の様子を確認してもらいます。新職員にはトロミの作り方や使い方の研修もしました。毎日の食事を食べる事は生きていく上でとても重要な事でもありますし、楽しみでもあります。これからも利用者さんが美味しく、楽しく、安全に食事が出来るように活動を行っていきます。



行事報告

★熊本県知的障がい者施設親善スポーツ大会【10月13日（日）植木中央公園運動施設】

今年もペタンク競技に参加しました。事前に参加希望者を募り、大会に出場するメンバー決めの予選会を実施。そこで選抜された男女8名を2チームに分け出場しました。

試合は施設内での練習環境と少し違うせいか、いつもより遠くに転がってしまう方や緊張から左右にずれてしまう方などもおり、ハラハラドキドキの展開が続きました。しかし、練習の成果を発揮させ、中央の5点のゾーンにぴったりと球が行くと、ご本人も応援職員も「よしっ!」と大きな歓声が上がりました。つくしの里Aチームがリーグ優勝、Bチームが2位という結果でした。皆さん「来年も優勝するぞ!」と意気込み十分でしたので、来年に向け練習を頑張っていきたいと思います。（支援員 瀬形）



★大津町福祉まつり（10月20日（日）大津中央公園）

予定されていた会場が選挙の不在者投票のため、近くの公園に変更となり少し不安もありましたが、当日は天候にも恵まれ、素晴らしい一日となりました。

会場では中国語を話される台湾の方を始め、大勢の人々が訪れました。特に5年ぶりの見学となる利用者さん9名が見学に来られ、笑顔を見せてくれた事は印象的でした。皆さんが催し物を楽しんでいる姿を見て、私自身も大変嬉しく感じました。つくしの里の焼きそばは大盛況で、400食を見事に完売することができました。

この経験を通じて、地域の皆さんと交流する楽しさや、イベントを成功させるためのチームワークの大切さを学びました。今後もこのような機会があれば、積極的に参加したいと思います。（支援員 後藤ヒ）



★第8回 秋の里まつり【10月26日（土）つくしの里】

令和2年度からコロナで規模を縮小していましたが、5年ぶりに地域のお客さまをお招きして本来の「秋の里まつり」を開催することができました。久々の通常開催で準備に時間を費やしました。当日の朝は雨が降り、天気が心配されましたが始まる頃には雨もあがり無事に開始することができました。

「帰ってきた秋の里まつり！ありがとうを形に」をコンセプトに、来場される方が気軽に楽しい時間を過ごして頂けるよう計画、準備しました。人気の焼きそばを始め、今回は新しくキッチンカーを取り入れました。天候も良くなったためアイスやかき氷なども好評でした。またステージの出し物ではご当地ヒーロー「グランパワーヒノクニ」のショーに始まり、南阿蘇エイサー隊の皆様、新人職員出し物、大津太鼓の皆様、最後に歌手のイーシスさんの歌で会場を盛り上げてもらいました。まつりの最後にはお待ちかねの抽選会が行われ、利用者さん、ご家族や来場された方々、ボランティアさんなどと交流することができ笑顔の多い楽しい時間を過ごしました。

まつりを開催するにあたって、ご家族の皆様、地域の皆様、いつもお世話になっている沢山の方々のお力のおかげで、利用者さんが守られ楽しく過ごすことができるのだと改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。誰もが楽しめるまつりになるように準備してきましたが反省点も多く、至らない点もあったと思います。コロナが終わり新しいステージのまつりとしてのスタートの年でしたので、今年の反省点を活かして新しい「秋の里まつり」を今後、もっともっとよくしていきたいです。

（主任支援員平田・小嶋 支援員外山・松若）

秋の里まつりへの

ご協力ありがとうございました



- ・赤塚チヅ子 様
- ・穴井るみ子 様
- ・石塚正司 様
- ・今村順子 様
- ・岩尾昭徳 様
- ・宇野勝彦 様
- ・大塚武年 様
- ・大畠千恵 様
- ・小川眞司 様
- ・尾田一広 様
- ・古閑靖浩 様
- ・竹山眞事 様
- ・坂本励帆 様
- ・中尾精一 様
- ・長渕昌明 様
- ・長渕民子 様
- ・奈須史華 様
- ・松田健 様
- ・松永一博 様
- ・松永佳子 様
- ・古庄澄代 様
- ・古庄政敏 様
- ・古庄晴美 様
- ・中山稚依子 様
- ・飛石陽菜 様
- ・日比野由奈 様
- ・伊藤有希 様
- ・野口真央 様
- ・八木颯 様
- ・高尾愛美子 様
- ・村上達郎 様
- ・牛島正人 様
- ・仮宿区 様
- ・平川区長会 様
- ・社会福祉法人秋桜会 様
- ・一般社団法人すまいる 様
- ・サントリービバレッジソリューション 様
- ・つくしの里保護者会 様
- ・JIC九州(株) 様
- ・(有)千石屋石油 様
- ・(有)日野環境 様
- ・長野歯科 様
- ・(株)エコア 様
- ・ホシザキ南九(株) 様
- ・お菓子の香梅 様
- ・熊本トヨペット 様
- ・(株)小竹組 様
- ・(株)風雅 様
- ・おぐらのから揚げ 様
- ・(株)K・タナカトレーディング 様
- ・ダスキントーミンックス 様
- ・パソラボ熊本ラボ 様
- ・(株)リエルサプライ 様
- ・阿蘇天然アイス 様
- ・フリーダムスマイル 様
- ・浜食品 様
- ・熊本銀行 様
- ・イオン大津店 様
- ・福岡・坂田税理士法人 様
- ・アルパテック 様
- ・(株)三協化研 様
- ・日清医療食品(株) 様
- ・フロレスタドーナツ 様
- ・シスターズ 様
- ・グランパワーヒノクニ 様
- ・南阿蘇エイサー隊 様
- ・大津太鼓 様
- ・イーシス 様
- ・熊本歯科技術専門学校 様
- ・九州看護福祉大学 様
- ・熊本学園大学 様
- ・城北高等学校 様
- ・翔陽高等学校 様
- ・菊池農業高等学校 様



★生活介護班⑤班一泊旅行【11月13日（水）～14日（木）大分県久住高原ホテル他】

8月から延期になっていた一泊旅行に行く事ができました。初日に向かったのは九重夢大吊橋と久住高原ホテル。11月ということもあり、移動中の車内や九重夢大吊橋から綺麗な紅葉の景色を楽しみました。宿泊した久住高原ホテルでは、露天風呂や少しリッチな夕食・朝食でリラックスして過ごされ、中には朝風呂を楽しまれた方もいました。

2日目は道の駅小国ゆうステーションで、お土産を購入し、職員と一緒にアイスクリームを楽しんで頂いた後、北里バランで昼食をお腹一杯になるまで食べました。延期になってしまった旅行でしたが、いつもとは違った利用者さんの一面を見る事ができ、支援員として楽しく、大切な思い出として残りました。
(支援員 伊藤)



★くまもと県障がい者芸術展【11月12(火)～17日(日) 熊本県立美術館分館】

利用者さんの作品が展示され、他の施設からの作品も数多く並びました。色々なアイデア溢れる作品ばかりでしたが、つくしの里の作品が一番良かったのでは？と思っています。見学に行かれた利用者さんも、自分の作品を見て嬉しそうにされていました。

(支援員 山田)



★グループホーム地域交流会【11月16日(土) つくしの里】

コロナ禍により中止していた地域交流会を今年度開催しました。中止していた期間に、新規の利用者さんが増え、退所された方などグループホームの状況も変わり地域の方との接点も以前より少なくなりました。その為、地域の方に現在のグループホームを知っていただく機会を持ち、これからも関わりを深めたいと思っています。

当日は天候にも恵まれ、焼きそば・焼肉を一緒に味わい、時間の許す限り交流をしました。久しぶりの為、以前より参加人数は少なかったものの、「いつも昼歩きよるね」「元気な声が聞こえる」等、地域の方の思いを聞く機会になりました。今後も、地域の方との交流を行っていきたいです。

(主任支援員 山中)



研修報告

※10/21（月）～11/20（水）について報告いたします。

◆年金委員実務研修会【10月29日（火）グランメッセ熊本】

マイナ保険証の使用推進に伴い、協会けんぽから発行している保険証は12月2日より新規の保険証の発行を終了するとの話がありました。現在持っている保険証は令和7年12月まで使用可能で、その月以降でマイナンバーカードを持っていない方は、協会けんぽから送られてくる「資格確認書」で保険証の代用ができるということです。個人情報漏洩しないか不安な方も多くいらっしゃると思いますが、適切にマイナンバーカードを利用していきたいと思います。

ペーパーレス化が進み、年金機構から自宅に届く青色のハガキ「ねんきん定期便、通知書」もスマートフォンで確認できるようになりました。「マイナポータル」というアプリをインストールして登録し、ねんきんネットと連携して通知書のペーパーレス化を設定すると、画面で見られるとの事です。ハガキを紛失してしまうのが不安な方や手軽に確認したい方は活用してみてもいかがでしょうか。



（事務員 樋口）

◆令和6年度福祉サービス苦情解決研修会【10月29日（火）火の君文化センター】

苦情解決責任者、苦情受付担当者の役割や第三者委員の機能や役割、苦情を受け付ける際の配慮や注意点などの講義を受けました。苦情につながる可能性のある事例も紹介され、当事業所でも十分あり得る内容だった為、気を付けておく必要があると感じました。職員のちょっとした言葉遣いやイントネーションが、ご家族の要望から苦情に発展する危険性もある為、職員全体へフィードバックしていきたいと思います。苦情解決に関する研修内容ではありましたが、まずは苦情にならないような配慮と対応を実施しながら、万が一、要望・苦情としてお言葉をいただいた場合は、施設をより良くするための貴重な言葉として対応していきます。



（支援係長 竹下）

◆広報コミュニケーション研修会【11月6日（水）・7日（木）熊本県総合福祉センター】

体験することが一番身につくとのことで、講義より実践が多い研修でした。自己紹介や施設の広報についての発表、カメラの使い方を教わって近くの公園で写真を撮る実習、グループで意見を出し合い模造紙で広報誌を作成する等、全体発表もありました。

どの施設も広報誌を発行されていましたが、特に驚いたのは発行の頻度です。他の事業所は年3回や半年に1回が多く、月1回はつくしの里のみでした。現場の職員が現場を抜けられない、集まる時間が取れない等、福祉の現場で働く人材不足は、どこも同じ悩みを抱えていました。その中でもつくしの里は月1回「里だより」を発行しているので原稿の段取りから時間管理が上手くできているなど改めて感じました。

広報はコミュニケーションツールの一貫であり、組織にとって欠かせない要素の一つになっています。「里だより」を楽しみにしてくださる方がいます。職員で協力し合い、より良い広報誌を作成していきたいと思います。



（事務員 樋口）

行事予定

12月



☆クリスマス会 (つくしの里)

期 日：12月24日 (火)

内 容：楽しい出し物やクリスマス特別メニューで盛り上がります。
もちろん。クリスマスプレゼントも楽しみです(∇^∇)

☆もちつき大会 (つくしの里)

期 日：12月28日 (土) 午前10時30分～

内 容：ご家族の方をお招きし、おもちをつきたいと思います。
今年最後の行事で2024年を締めくくります。



ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和六年十月二十一日～
令和六年十一月二十日です



【寄付・寄贈】

- ・今坂桂子 様
- ・竹山洋子 様
- ・田代千恵子 様
- ・藤本睦美 様
- ・守田勝之 様
- ・渡辺昭子 様
- ・江頭多津子 様
- ・米田政輝 様
- ・田上恵子 様
- ・三上貴宏 様
- ・山口静美 様
- ・穴井るみ子 様
- ・トキロロ様
- ・カモメ 様

【ボランティア】確認済

誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。



編集後記

編集をしていると、秋の里まつりに、
班旅行など行事が多く、どれも笑顔沢山の
写真ばかりで選ぶのに苦労しました
(笑)。利用者さんの楽しい思い出が山盛
りで嬉しく思います。

師走に入ります。僧侶が走り回るほど
の忙しさの由来通り、年末の大掃除や新
年の準備に向けてバタバタしてしまいま
すが、急激な寒さと忙しさに負けず、く
れぐれもご自愛ください。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、
記事の記載・確認をしておりますが、誤字
脱字等がございましたら、何卒ご容赦して
いただきたく存じます。

